

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・移動平均法による原価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却の方法は、定額法で行っている。なお、ソフトウェアについては、法人内における利用可能期間(5年間)に基づき定額法によっている。

(3) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

資金の範囲には現金及び現金同等物を含めている。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借手に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2 会計方針の変更

該当なし。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	309,401,137	0	0	309,401,137
小 計	309,401,137	0	0	309,401,137
特定資産				
国際交流推進積立資産	561,055,156	0	0	561,055,156
小 計	561,055,156	0	0	561,055,156
合 計	870,456,293	0	0	870,456,293

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	309,401,137	278,081,064	31,320,073	0
小 計	309,401,137	278,081,064	31,320,073	0
特定資産				
国際交流推進積立資産	561,055,156	561,055,156	0	0
小 計	561,055,156	561,055,156	0	0
合 計	870,456,293	839,136,220	31,320,073	0

5 担保に供している資産

該当なし。

6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
什器備品	10,250,344	6,245,386	4,004,958
ソフトウェア	8,230,200	2,475,916	5,754,284
合 計	18,480,544	8,721,302	9,759,242

7 保証債務等の偶発債務
該当なし。

8 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。
(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
国債(大和証券)	479,731,068	526,944,000	47,212,932
国債(SMBC日興証券)	496,475,000	562,450,000	65,975,000
合計	976,206,068	1,089,394,000	113,187,932

9 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
受取福岡県補助金	福岡県	0	122,990,368	122,990,368	0	一般正味財産
負担金						
受取福岡県負担金	福岡県	0	46,185,775	46,185,775	0	一般正味財産
受取福岡市負担金	福岡市	0	37,788,361	37,788,361	0	一般正味財産
受取負担金	(公財)福岡県教育文化奨学財団	0	300,000	300,000	0	一般正味財産
	その他	0	10,300,946	10,300,946	0	一般正味財産
合計		0	217,565,450	217,565,450	0	

10 基金及び代替基金の増減額及びその残高
該当なし。

11 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。
(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	6,206,860
特定資産受取利息	11,258,500
合計	17,465,360

12 関連当事者との取引の内容
該当なし。

13 キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は、以下のとおりである。

(単位:円)

前期末		当期末	
現金預金勘定	101,674,993	現金預金勘定	97,373,698
現金及び現金同等物	101,674,993	現金及び現金同等物	97,373,698

(2) 重要な非資金取引は、以下のとおりである。
該当なし。

14 重要な後発事象
該当なし。

附 属 明 細 書

- 1 基本財産及び特定資産の明細
基本財産及び特定資産について、財務諸表の注記に記載しているため、内容の記載を省略する。